

仙台市議会 政策報告

発行者
加藤和彦

仙台市青葉区愛子東六丁目7-45
TEL.022-392-2213
FAX.022-392-6176
<http://k-kazuhiko.com/>

一緒に創ろう！
仙台の未来

青葉区発

No.28

令和5年3月

令和4年第3回定例会 一般質問

アフターコロナを見据えた**経済成長**に向けて、
早急に、そして戦略的に手を打っていく必要がある中、
仕組みの遅れを感じる。

本市の**経済成長**について、**人材育成と投資喚起**によって
イノベーションが起こるような「**社会的土壌**」を
整えることが何より重要と捉え、伺う。

令和4年第3回定例会 一般質問 質問と回答

Q1 地元企業の海外展開について

A1 海外との往来や海外における展示商談会が再開されつつある状況も踏まえ、地元中小企業の海外展開の支援に取り組み、地域経済の活性化につなげてまいります。

Q2 東北連携による海外展開と東北全体の農業・水産業への貢献について

A2 今後とも東北大学やナノテラスなどの研究開発機能も活かしながら、東北の農業・水産業の成長に向けた取組みの充実に努めてまいります。

Q3 本市の成長産業の育成について

A3 様々な産業とのかけ合わせによる課題解決を進めてきたところですが、今後ともICT産業が地域の経済成長を牽引し、イノベーションの創出に寄与するよう、取り組んでまいります。

Q4 卓越した人材の育成と集積と好循環を生み出す仕組みについて

A4 学都である本市には優秀な若者も多く、強みを十分に活用しながら、世界から選ばれるまち仙台の実現を目指してまいります。

Q5 スタートアップ支援の成果及び今後の取組みについて

A5 「世界を変えるスタートアップが生まれ、世界中から社会を変革するイノベーターが集う都市」の実現に向けまして、全力で取り組んでまいります。



TOPIC 令和4年度 施工一覧表

第3回定例会

1
一般質問

地元企業の海外展開について

Q 加藤和彦議員

新型コロナウイルス感染症の終息は未だに見通せない状況にありますが、アフターコロナを見据えた経済成長に向けて、早急に、そして戦略的に手を打っていく必要があります。

しかしながら現状はどうでしょうか。私は、我が国全体としても、また仙台市としても、いささか仕組みが遅れているのではないかと感じております。

私は「今後の地域経済の成長を考えると、もっと海外に目を向けるべきである」との考えのもと、昨年第3回定例会において、アフリカを例としてお示しをしながら、発展途上にある国などへのビジネス展開の必要性について取り上げました。

本市において間もなく人口減少時代に突入します。国内の需要は先細りしていくことは明らかですから、仙台の産業の中心であり、大多数を占める中小企業が、世界をマーケットとして販路を広げていくことが必要不可欠であります。特にアジアやアフリカといったマーケットは、今後も人口増加が見込まれるだけでなく、日本では当たり前になっようなものでも、まだ普及していません。日本国内の商品や製品の開拓の余地もあるなど、大変有望な市場であります。また、8月に開催されたアフリカ開発会議（TICAD）においても、日本政府から今後3年間で官民総額約4兆1

千億円規模のアフリカへの資金投入を行っていくことが表明されています。

貿易関係の資料を調べてみますと、2021年の世界各国の商品貿易の輸出総額のランキングで、我が国は約7,500億ドルで世界第5位となっております。第1位は中国、第2位はアメリカとなっております。国の規模などを考えると私も納得をするところですが、第3位はドイツで輸出額は約1兆6,300億ドル、第4位はオランダで約8,300億ドルとなっております。ドイツの人口は約8,000万人であるにも関わらず、輸出額は我が国の倍以上、またオランダの人口は日本の7分の1ですが、輸出額は我が国を上回る状況となっております。ドイツは工業製品、オランダは農産品が、それぞれ輸出を牽引しております。

特に、産業構造が比較的近いといわれるドイツと我が国を、中小企業という点に着目して比べてみますと、民間企業の割合が企業数としては全体の99.5%を超えているのは共通ですが、海外へと輸出している中小企業は、日本が約3割程度にとどまっているのに対し、ドイツは約6割となっており、さらに言えば研究費に投じる資金も約100億ドル以上と多額になっており、この差は決して小さくないと思います。日本の中小企業は、海外からの所得移転が少なく、内需、主に個人消費で賄っているわけですが、人口減少で内

需の大幅な拡大は見込めない中、私はこの固定化した産業構造、内需頼みからの脱却が必要と考えるものです。

我が国全体としても、また本市としても、企業の海外展開の取組みを強化する余地がまだまだあると思います。昨私が本件を議会で取り上げて以降、地元企業の海外展開に関して、どのような取組みをしてきたのかお伺いします。

A 経済局長

地元企業の海外展開に関する取組みについて

人口減少に伴う国内市場の縮小に対応するためには、海外への販路を開拓していくことが重要であると認識しており、本市では、経済成長が

著しく有望な市場であるASEAN諸国等への販路開拓支援に取り組んできたところでございます。

昨年度は、コロナ禍により海外との対面取引が難しい状況を踏まえ、インターネットを活用した電子商取引セミナーを新たに開催するとともに、仙台タイサポートデスクにおいて、現地の市場動向の分析・ヒアリングを行い、地元企業の取引に有用となる情報提供を行うなどの取組みを行ってきたところでございます。

海外との往来や海外における展示商談会が再開されつつある状況も踏まえ、ジェットロなどの関係機関などとも連携し、地元中小企業の海外展開の支援に取り組み、地域経済の活性化につなげてまいりたいと存じます。

第3回定例会

2

一般質問

東北連携による海外展開と東北全体の農業・水産業への貢献について

Q 加藤和彦議員

海外展開を進めることは必要ではあります。地域の中小企業が個別に海外に売込みを行って、大きな成果を上げることは現実的にはなかなか難しいものがあります。個々の企業や自治体ではアピール力や認知度が低いのであれば、「東北のものをパッケージで売り込んでいく」といった視点が重要で

本市の経済戦略では、取組みの視点の一つとして「東北の持続的発展への貢献」を掲げております。本市経済は東北全体に支えられ成長した

こと、本市経済の持続的成長に向けては、東北地方全体の持続的発展を意識した取組みが必要である、そのような記載があります。

企業の海外展開にあたっては、本市が東北全体に貢献していく、東北連携の視点が求められます。その際、以前から繰り返し指摘しているように、私は、東北の一番の良さは農業や水産業にあると考えております。仙台が東北のハブとなり、農業や水産業における新たな取組み、研究の発祥の地になっていくような取組み

加藤和彦議員×経済局長×仙台市長

を期待しているところです。

本市には世界トップレベルの研究拠点である東北大学があります。令和6年度には次世代放射光施設ナノテラスも稼働します。こうした資源をフルに活用して、東北の基幹産業である農業や水産業の成長に向けた取組みを強化すべきと考えますが、当局の考えをお伺いします。

Ａ 経済局長

東北全体の農業や水産業の成長に向けた取り組みについて

農業や水産業は、担い手不足やデジタル化の遅れなどの課題を抱えており、

生産性向上や先端技術への対応が求められていくものと認識しております。

このため本市では、東北大学との連携により、東北の水産業へのAI技術の導入支援を行うとともに、放射光施設のトライアルユース事業を通じて、農産品の品質向上に向けた分析等の機会の提供を行ってきたいと考えています。

本市経済の持続的成長に向けては、東北全体の発展に貢献する視点が必要であり、今後とも東北大学やナノテラスなどの研究開発機能も活かしながら、東北の農業・水産業の成長に向けた取組みの充実を努めてまいります。

第3回定例会

3

一般質問

本市の成長産業の育成について

Ｑ 加藤和彦議員

本市では、以前よりインバウンドや観光に力を入れてきました。

海外から仙台・東北への旅行者の誘客という人の流れだけでなく、より幅広い分野で貢献していく役割が本市には求められます。交流人口の増加を目指すことは、いわゆる外貨の獲得にもつながるものであり、地域経済の活性化に向けて充実を図っていく必要があることは理解いたします。

一方で、仙台は京都のように観光メインで経済を成り立たせていけないというところもまた、現実ではないでしょうか。

一国の経済状況を示すGDPとは、要するに「付加価値の総計」であります。

据え考える力が問われています。

今後の本市経済の持続的発展に向けては、世界をマーケットにした新たな成長産業を育てるための戦略が必要で、産業の育成に補助金を出して終わりというのは昭和のやり方であり、何を本市の成長産業と位置づけ、それをどのように育成していくのか、市は明らかにすべきです。当局の所見をお伺いします。

Ａ 仙台市長

本市の成長産業について

情報通信技術の急速な発展が続く中、ICT産業は世界の経済成長を牽引しております。

また、新型コロナウイルス感染症

の感染拡大を契機とし、あらゆる産業においてデジタル化の加速が求められていくことや、我が国として「デジタル田園都市国家構想」に基づき、デジタルによる国全体の成長の実現を目指すことから、ICT産業は、今後も高い成長性が見込まれると認識しております。

本市では、ICT関連企業の誘致や、高度IT人材の育成などに取り組むとともに、ICTと防災や医療、また健康福祉などの様々な産業とのかけ合わせによる課題解決を進めてきたところがございます。今後ともICT産業が地域の経済成長を牽引し、イノベーションの創出に寄与するよう、取り組んでまいります。

第3回定例会

4

一般質問

人材の育成とベンチャー・スタートアップ支援について

Ｑ 加藤和彦議員

現代は「VUCA（ブーカ）の時代」と言われております。これは、変動性が高く、不確実で複雑、さらに曖昧さを含んだ社会情勢を示すものであります。ビジネスの現場においても、これまでの常識や手法が通用しなくなっております。こうした時代において、最も必要なことは何なのか。私は「人材を育てること」そして「イノベーションの構築」であると考えます。

国際競争力をつけるためには、国内の人材を育てることはもちろん、国外からも優秀な人材が集まる国

の育成が必要とされています。今のイノベーションの時代、競争力・成長力の圧倒的な源泉は多様な卓越した人材の集積であり、そうした人材の「知」から生まれてくるスタートアップであり、そこに世界中のカネが吸い寄せられていくこととなります。

そうした意味で、卓越した若者が育ち、集まる土壌の整備が急務であると考えます。当局はこうした人材の育成、そして集積について、どのようにお考えでしょうか。所見をお伺いします。

どんな生態系なら日本が中心となり得るか、言い換えれば、どういう条

件のところに人材が集まるのか考えてみますと、自由と資本主義の両方があり、研究空間、生活空間、ビジネス空間、家族や教育を含めた人生空間として、世界基準で魅力的な場所であることが求められると思います。

日本、特に東北は、治安が良く、四季折々の気候で、美しい自然と名所旧跡、美味しい食事、世界的には今や住居費、生活費も安い。魅力度的には抜群のエリアであり、このポテンシャルを活かさない手はありません。

もう一つの条件は、バイオのよう
に他地域で生態系の中心が形成されている領域で、どう稼ぐか。例えば、ネット空間ではGAFAMが席卷していますが、ゲームやアニメコンテンツのレイヤーでは日本企業が強みを発揮しています。他領域においても、どんどん多層化し、リアルレイヤーも融合していく中で、レイヤーをうまく選択すれば、大企業に比べて資本力に劣るベンチャーであつても、高成長、高収益のビジネスモデルを確立できる可能性があります。

スタートアップは、経済成長の原動力であるイノベーションを生み出すとともに、環境問題や子育て問題などの社会課題の解決にも貢献し得る、新しい資本主義の担い手であり、6月に公表された「経済財政運営と改革の基本方針」、いわゆる骨太の方針においても、「スタートアップ」を「一人への投資」「科学技術・イノベーション」「グリーン」「デジタル化」と並ぶ重点投資分野に位置づけ、今後5年でスタートアップを10倍に増やす目標を掲げ、スタートアップ

への支援を強化していく方針を打ち出したところです。

世界的に見ても、スタートアップが様々な分野のイノベーションを牽引している状況であり、我が国の今後の成長に向けては、スタートアップの育成が重要であるという事は言うまでもありません。また、違う側面となりますが、諸外国では就職にあたりスタートアップの人気の高いことから、スタートアップの育成を進めることは、優秀な人材を繋ぎ止めることにも資するものであると私は考えます。

グローバル化とデジタル革命によって地域と地域、国と国という物理的距離の障壁がほぼなくなっている現代において、地方からダイレクトアクセスで世界とビジネスしている企業は少なくありません。

例えば、この会社がなくては物理学の研究が成立しないといわれるほどの存在である素材メーカー、静岡県の「浜松ホトニクス」、アメリカのボーイング社との直接取引で制御装置機器を製造する、長野県飯田市の「多摩川精機」、高度なセンサー技術と電磁弁制御を組み合わせた自動水栓を製造する長野県佐久市の「バイタル」などなど、枚挙にいとまがありません。厳しい競争環境の中ですが、仙台・東北はモノづくり力、プラス「生産・販売モデル」のセットで国内外に積極的に展開すべきであります。

仙台発で、評価額10億ドルを超える、いわゆるユニコーンと呼ばれるスタートアップが多く誕生していく、そんな未来を願うものですが、これまでのスタートアップ支援の取組みの成果をお示しください。併せて、国の動向も踏

まえて、更なる取組みの強化が必要と考えますが、当局の所見を伺います。

本市経済が持続的に発展し、それを牽引する成長産業やスタートアップの創出を進めるためには、人材育成と投資喚起によってイノベーションが起ころうような「社会的土壌」を整えることが何より重要であります。

知（人材）のイノベーション力の向上が投資呼び込み、その投資がビジネスの付加価値・生産性の更なる向上を生み出し、政策による労働分配率の向上を通じて、全体的な所得増加へつながっていく、そのような好循環を生み出す仕組みを構築していくことが求められているのではないのでしょうか。最後に伺います。

— A v 仙台市長 —

卓越した人材の育成と集積について
好循環を生み出す仕組みについて

持続的な経済成長に向けた、人材の育成や集積並びに好循環を生み出す仕組みの構築についてお答えを申し上げます。

本市が掲げる「創造性と可能性が開くまち」の実現に向けましては、成長性の高い産業と優秀な人材の集積や育成を進めて、連鎖的にイノベーションが生まれる仕組みを構築することが重要でございます。

このような認識のもと、本市ではこれまで、東北大学など産学官金との連携により、ICT企業や研究開発機関の誘致を進めるとともに、高度IT人材の育成など各般の取組みを進めてきたところでございます。学都である本市には優秀な若者

も多くおいでです。また、東北大学やナノテラスなどの優れた研究開発機能もございます。

こうした本市の取り組み、強みを十分に活用しながら、取り組みの一層の充実を図って、世界から選ばれらるまち仙台の実現を目指してまいります。

スタートアップ支援の成果及び今後の取組みについて

次にスタートアップの支援についてお答えをいたします。

スタートアップが生み出すイノベーションや、多様化する社会的な課題の解決に向けた新たなビジネスモデルは、本市経済の持続的成長を進めていくうえで欠くことのできないものであると、このように認識をしております。

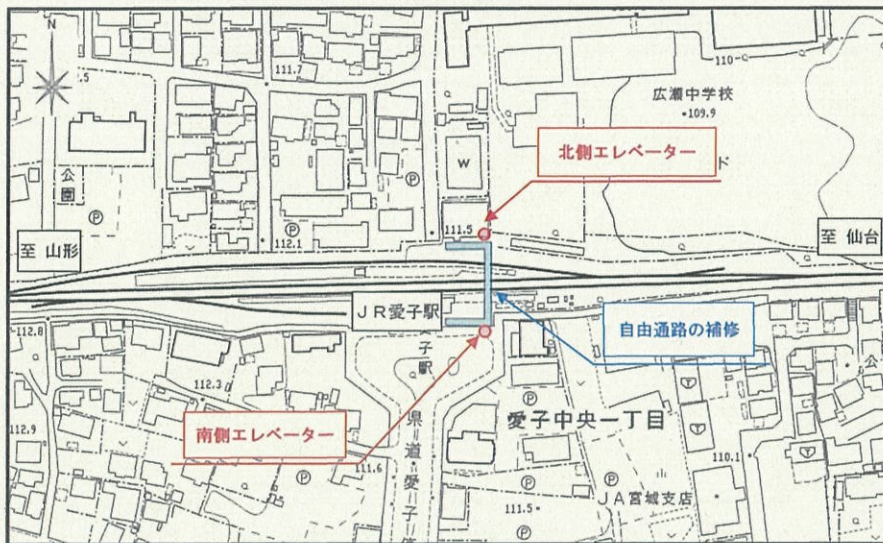
本市では、これまでも地域の産学官金の連携のもとでスタートアップ支援に取り組んで、新規株式上場を果たした事例、それから3億円を超える資金調達を行った事例も生まれております。今般我が国として、スタートアップ支援の強化を図る方針が示されまして、本市といたしましてもスタートアップ支援を経済政策の柱と位置づけて、重点的に取り組んでいく必要があるものと、私といたしまして思いを強くしたところでございます。

本市の強みである東北大学などの研究シーズを活かしたスタートアップの支援の強化など、各般の取組みを充実して、「世界を変えるスタートアップ」が生まれ、世界中から社会を変革するイノベーターが集う都市の実現に向けまして、全力で取り組んでまいります。

JR仙山線愛子駅のエレベーター新設及び自由通路補修工事について

○工事スケジュール(現時点における予定)

- ①南側(駅前広場側)エレベーター 令和5年1月に着工し、令和5年の夏頃の完成を目指す。
- ②北側(広瀬中学校側)エレベーター 令和5年の秋頃に着工し、令和6年の夏頃の完成を目指す。
- ③自由通路の補修 南側・北側のエレベーター完成後、早ければ令和6年度の秋頃に着工し、令和9年度内の完成を目指す。*自由通路の補修は、軌道敷内の作業を伴うことから、仮設材の設置や作業時間帯などに制限がかかり、通常の工事より工期が長くなる。



令和5年度 施工一覧表

※令和5年度発注予定の工事(財政内示ベース)及び令和4年度より継続して行う工事 令和5年1月18日現在

No.	工事件名	施工場所	発注予定時期または工期 (延伸予定の工期)
1	(市)向田団地線(向田工区)橋梁下部工事(その1)	青葉区芋沢字鳥屋敷前 地内外	R4.11.28~R5.6.30
2	(市)サイカチ沼線(芦見工区)道路防災工事	青葉区上愛子字芦見 地内	R4.9.2~R5.6.30
3	(市)芋沢赤坂線道路改良工事(その1)	青葉区芋沢字赤坂 地内	R5.1月発注済
4	(市)落合栗生線(落合橋)橋梁下部工及び旧橋撤去工事	青葉区栗生二丁目 地内	R5.2月発注予定
5	G7関連(一)秋保温泉愛子線(新宮前工区)舗装改修工事	青葉区上愛子字新宮前 地内	R5.1発注予定
6	G7関連(一)秋保温泉愛子線(錦ヶ丘工区)舗装改修工事	青葉区錦ヶ丘 地内	R5.1発注予定
7	G7関連(一)秋保温泉愛子線(芦見工区)舗装改修工事	青葉区上愛子字芦見 地内	R5.1発注予定
8	(市)芋沢赤坂線道路改良工事(その2)	青葉区芋沢字赤坂 地内	3/4期発注予定
9	(市)向田団地線(向田工区)橋梁下部工事(その2)	青葉区芋沢字鳥屋敷前 地内外	1/4期発注予定
10	(市)向田団地線(向田工区)道路改良工事	青葉区芋沢字鳥屋敷前 地内外	2/4期発注予定
11	(市)愛子東一丁目4号線道路改良工事	青葉区愛子東一丁目 地内	2/4期発注予定

※1/4期とは4月~6月、2/4期とは7月~9月、3/4期とは10月~12月、4/4期とは1月~3月

令和5年度 施工一覧表

※令和5年度発注予定の工事(財政内示ベース)及び令和4年度より継続して行う工事

令和5年1月18日現在

No.	工事件名	施工場所	発注予定時期または工期 (延伸予定の工期)
12	(市)綱木半子町線道路改良工事	青葉区芋沢字横向山 地内	2/4期発注予定
13	(市)落合栗生線(落合橋)橋梁上部工工事	青葉区栗生二丁目 地内	2/4期発注予定
14	(主)定義仙台線(郷六地区)側溝整備工事(その2)	青葉区郷六字葛岡 地内	3/4期発注予定
15	(市)熊ヶ根青下線側溝整備工事	青葉区大倉字赤沢山 地内	3/4期発注予定
16	(主)仙台北環状線(葛岡工区)舗装改修工事	青葉区郷六字葛岡 地内	1/4期発注予定
17	(国)457号(綱木工区)舗装改修工事	青葉区芋沢字的場 地内外	1/4期発注予定
18	(国)457号(愛子東工区)側溝改修工事	青葉区愛子中央1丁目 地内外	2/4期発注予定
19	(国)457号(愛子東工区)舗装改修工事	青葉区愛子東2丁目 地内外	2/4期発注予定
20	(市)四反田前高野原線(四反田工区)舗装改修工事	青葉区芋沢字小坂南 地内	1/4期発注予定
21	(市)吉成伊勢幹線7号線(国見ヶ丘五丁目工区)舗装改修工事	青葉区吉成1丁目 地内	1/4期発注予定
22	(市)国見ヶ丘中央線(国見ヶ丘一丁目工区)舗装改修工事	青葉区国見ヶ丘3丁目 地内	2/4期発注予定
23	(一)落合停車場線(栗生工区)舗装改修工事	青葉区栗生5丁目 地内	2/4期発注予定
24	(市)宮城中山線(吉成山工区)舗装改修工事	青葉区芋沢字吉成山 地内	2/4期発注予定
25	(一)泉ヶ丘熊ヶ根線(高畑工区)舗装改修工事	青葉区大倉字高畑 地内外	1/4期発注予定
26	(市)倉内赤生木線(倉内工区)舗装改修工事	青葉区上愛子字倉内 地内外	1/4期発注予定
27	(一)泉ヶ丘熊ヶ根線(菖蒲沼工区)舗装改修工事	青葉区大倉字原山 地内	1/4期発注予定
28	(一)落合停車場線(栗生工区)歩道改修工事	青葉区栗生4・5丁目 地内	2/4期発注予定
29	(主)仙台北環状線(吉成台工区)舗装改修工事	青葉区吉成台2丁目 地内	2/4期発注予定
30	(主)仙台北環状線(吉成工区)舗装改修工事	青葉区吉成2丁目 地内	1/4期発注予定
31	(主)定義仙台線(葛岡工区)舗装改修工事	青葉区郷六字龍沢 地内	2/4期発注予定
32	(国)457号(陸前落合駅前広場工区)歩道改修工事	青葉区落合2丁目 地内	2/4期発注予定
33	(主)十里平線(高見沢工区)道路防災工事	青葉区大倉字高見沢 地内	1/4期発注予定

※1/4期とは4月～6月、2/4期とは7月～9月、3/4期とは10月～12月、4/4期とは1月～3月